

令和5年度 第4回 碧南市介護保険運営協議会会議録

1 日時

令和5年10月27日（金） 午後1時30分～午後2時30分

2 場所

碧南市役所 2階 会議室1

3 出席者

(1) 委員

三島博、小田直樹、大田康博、堀尾静、小林正人、下村美幸、沢井智美、齋藤健、
藤田敏江、杉浦浩二、榊原由太郎、禰冨田悦子、杉浦信子、磯貝靖子、鈴木礼子、
小林清彦（計16名）

(2) 事務局職員

健康推進部長 山田昌宏、高齢介護課長 伊藤正博、健康課長 金原厚夫
高齢介護課課長補佐 杉浦洋子
高齢介護課課長補佐 伊藤博之
健康課課長補佐 石川麻子
高齢介護課介護保険係長 岡本東子
高齢介護課主査 加藤徹
株式会社明豊 渡邊陽介 ※第9期高齢者ほっとプラン作成支援業者
（計9名）

4 傍聴者

2人

5 議題

(1) 高齢者ほっとプラン素案について（資料1）

6 議事録

【事務局】：開会のあいさつ

【会長】：あいさつ

【事務局】

- ・ 碧南市入浴サービス事業と筋トレルーム 60 についてのアンケート分析結果報告

【A 委員】

- ・ 健康と暮らしの調査から見た「入浴サービス、筋トレルームの効果評価」について説明
- ・ 学術的な有意性を示すことは難しいが、入浴サービス事業、筋トレルーム 60 については、元々健康状態がよくないと自己評価している人の健康度が悪化するのを抑制する傾向があることを読み取れる。

【事務局】

- ・ こうした傾向を念頭におきつつ効果的な事業の実施方法を模索していく。
- ・ 筋トレルーム 60 については、継続することで効果が出てくるものであり、新規利用者の拡大と継続利用者の増加を図っていききたい。まずは認知度を上げていききたい。広報の掲載回数を増やすなど、より効果的な周知方法について検討していききたい。

【事務局】：議題(1)の説明 資料 1

- ・ 前回会議での意見を盛り込んだもの。前回からの修正・追加箇所を説明。
- ・ 修正箇所一覧に前回からの修正部分をまとめてある。

【B 委員】

- ・ ハローワークとの連携について（65 ページ）。自分はハローワークにいたが、愛知労働局と接点を持たないと、ハローワークには連携をとれるような人材はいない。募集する側に応じる側の体力についての理解がないと進んでいかない。
- ・ シルバー人材センターについて（65 ページ）。自分も一度仕事探しに行ったが、庭木の剪定等技術的なものがほとんどで、デスクワーク系のものはほとんどなかった。こうしたところでハローワークとの連携の必要性を感じる。
- ・ パブリックコメントの進め方について。フィードバックがどのようになされるのか。パブリックコメントの掲示場所はあまり市民の目に触れる場所にならないように思われる。

【事務局】

- ・ハローワークとは高齢介護課として連絡をとり、接点をもつようにしています。
- ・シルバー人材センターとも事務局と連絡をとり、ハローワークの状況等を踏まえて情報交換に努めていきたいと考えています。

【事務局】

- ・パブリックコメントは12月15日から1月15日の一ヶ月間で行います。閲覧場所は、市として統一的に市役所ホール、高齢介護課（原課）、南部市民プラザ、農業者コミュニティセンターで行うことになっています。また、ホームページにも掲載します。
- ・いただいた意見については、来年1月に開催する運営協議会で報告させていただきます。

【C委員】

- ・前回、提案に近い形で交通弱者対策についてお話をさせていただいた。デイサービスやデイケアの車を空いている時間に活用するというもの。この取り組みは介護事業にとっては負担になるものだが、それ以上に早く取り組んでいかないと、将来、もっと厳しい状況になったときに対応できなくなってしまう。こうした危機意識で発言させてもらった。今回、この点について触れられていないのは残念に思う。

【事務局】

- ・策定中の碧南市地域公共交通計画の中で、市内の公共交通の在り方について議論しています。まずはこの中で、交通弱者対策について考えていくつもりです。

【D委員】

- ・介護サービス機関連絡協議会との連携（96ページ）についての記載が盛り込まれてよかったと感じている。他の自治体では活発な取り組みができていないところもあるが、碧南市では、事務局を高齢介護課が引き受けてくれているため円滑かつ平等に取り組みができていると考えている。

- ・その一つの例が、⑤災害に対する備えの検討にある「へきなん災害時介護支援ネット」。BCP（事業継続計画）の策定を進める必要があり、碧南市全体の事業所で取り組みができています。小さな事業所だけでは対応が難しいのだが、この取り組みの中でサポートを受けることができる。この取り組みを計画に記載できたのはよかったと思う。

【事務局】

- ・災害時の高齢者への支援について、継続的に年6回検討会を重ねています。向こう3年間についても引き続き検討を続けていきたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

【E 委員】

- ・85ページの「高齢者にやさしい環境の整備」について。高齢者が徒歩で行ける公園の中に機能訓練ができるような設備を整備してほしい。

【事務局】

- ・ここで整備していくことはお約束できませんが、いただいたご意見は関係部局に伝えさせていただきます。

【F 委員】

- ・70、80を超えた高齢者でも運転免許の返納をしていないお話を聞きます。それが便利だからですが、今後のために高齢者の交通対策としてC委員のアイデアは考えてみたい。

【事務局】

- ・免許返納の方の交通手段は大きな課題であり、難しい問題です。先ほど説明したとおり、碧南市地域公共交通計画の中で高齢者の移動手段については議論が進んでいます。
- ・公共が行う事業については、民間事業者の経営状況に影響を与えることもありますので、そうした事業者の方々と相談しながら進めていく必要があります。

- ・高齢者の方の運動器具については、碧南レールパークや宮下住宅等に設置されており、高齢者の方が徒歩で利用できる状況になっています。市として、今後こうした観点は必要だと考えています。

【B委員】

- ・事務局の意見に「取り組みます」とあるが、いつまでにとか、どの程度とか、スケジュールについての説明がない。明文化していただきたい。

【事務局】

- ・この件については、担当部局が私どもだけではないという点や、公園の設置について住民の方の意向を確認する等、市が一方的にスケジュールを決められない点等があり、時間について表記できないものがありますのでご理解いただきたいと存じます。

【C委員】

- ・デイサービスやデイケアの車を空いている時間に活用する案は、第8期計画策定の際にも提案した記憶がある。第9期計画策定の中で出た議論を、計画策定後も継続審議できる体制を作っていただきたい。

【G委員】

- ・デイサービスやデイケアの車を空いている時間に活用する案をご提案されているが、介護サービス連絡協議会に属している多くの事業所には時間的にも金銭的にも余裕がないのでお受けできないと思う。
- ・訪問ヘルパーが通院介助で自分の車で連れていくのは、白タク営業になるということで国から止められている。車に乗せて何らかの報酬を得ることは難しい。無償で行うにしても、事故の際にどのように責任をとるのかということも課題となる。

【C委員】

- ・提案は他県の実例を踏まえてのものです。将来に向けた取り組みを始めるためにどうするかを議論したいと考えています。

【事務局】

- ・この件については様々なご意見があるかと存じます。高齢者の移動手段については、碧南市地域公共交通計画策定の議論の中で考えていきたいと存じます。

【H委員】

- ・目的地に行くには、くるくるバスの路線が長く、車で行くよりも長い時間がかかってしまう。路線の見直しをしてほしい。

【事務局】

- ・碧南市地域公共交通計画の策定の議論の中で、くるくるバスの利便性向上についても議論されています。お年寄りがお買い物に行きやすくなるようにショッピングセンターにバス停を置くということも検討しています。
- ・くるくるバスの利便性が上がるほど、タクシーの利用が減ることになります。一社撤退してしまいましたが、今後、さらに撤退ということになると、一般の方のみならず産業界にも影響が及びます。
- ・市の提供している高齢者タクシー料金助成事業は運転免許の返納対策ではなく、福祉サービスです。バス停まで歩き、そこから目的地まで歩くのが困難な要支援、要介護認定の方で、非課税世帯の方へタクシー券をお渡しさせていただいています。こちらの対象者についても碧南市地域公共交通計画の状況を勘案しながら検討していきたいと考えています。

【事務局】

- ・委員の皆様からいただいたご意見については、一つ一つを内部で検討し、関係部局がある場合にはそちらも巻き込んで検討を進めています。中には実施できないものや検討を継続しているものがあり、それらについてご報告ができていなかったことにつきましては、申し訳ありませんでした。そうしたところは今後、報告させていただきます。
- ・第9期の素案につきましては、今回までの会議で大方の意見が出そろったかと存じます。次回、11月24日に予定していた第5回運営協議会については開催しない

方向とさせていただきたいと存じます。いかがでしょうか。

- ・今後の予定。

パブリックコメント

期間 令和5年12月15日（金）～令和6年1月15日（月）

第6回（第5回）運営協議会（最終）

1月25日（木）

パブリックコメントの結果報告

介護サービスの見込み量と介護保険料（第5章）

【委員】

11月24日は開催しないこと異議なし。

【C委員】

- ・予定よりも早く進んだのなら、パブリックコメントのスケジュールについても早められないか。

【事務局】

- ・パブリックコメントについては、市議会にかける必要があり、今からの日程調整は困難なため、当初スケジュール通りとさせていただきます。

議題終了

【事務局】：「3その他」の説明

次回会議は、令和6年1月25日（金）。午後1時30分から。会場は市役所2階会議室1。

【事務局】 あいさつ

終了